

「まったり・発見 南知多」 ～海っ子バスお宝発見ツアー～

内海・山海まちづくり協議会「きずなの会」

南知多町

団体概要

団体名： 内海・山海まちづくり協議会「きずなの会」

代表者： 会長 内藤 宗充

団体目的： 住みよい活力あるまちづくりを目指すことを目的とし、心のかようまちづくりを理念としながら、行政任せにされてきた地域の抱える問題点を自分たちのことと捉え「住民自らが考え、議論し、行動する」という方針のもと活動

活動地域

南知多町 内海・山海地区

取組の経緯・背景と目的

内海・山海まちづくり協議会「きずなの会」では、地域活性化を目指して様々な活動を行っており、その一環として、コミュニティバスである「海っ子バス」を地域及び観光客に身近なものとするため、利用促進活動に取り組んでいる。平成 23 年6月に3日間、バス利用者へのヒアリング調査を実施し、利用者ニーズを把握。また、わかりにくいバス停表示の改善やバス停留所へのベンチ設置により、お年寄りにもやさしいバス利用環境の整備を目指して活動しており、「海っ子バス」の利用促進、PR活動の活発化を図り、地域の活性化を目指している。



海っ子バスの概要		
路線	豊浜線（上り）	師崎港～豊浜～南知多町役場～山田（南知多病院前）～知多厚生病院～河和駅
	西海岸線（上り）	豊浜魚ひろば～豊浜～岩屋寺～内海駅～知多厚生病院～河和駅
運行ダイヤ	6時台～21時台	
車両	小型バス、中型バスの2台	
運賃	南知多町内の利用、美浜町内の利用 160円 町を越える利用 300円 1日乗車券 500円 定期券・回数券あり	

※運行区間、運行経路は時間帯により一部異なる。

■取組のポイント

- ・ 地域住民が主体となり取り組んだバスのサービス改善
- ・ 県や町の事業とのタイアップによるバスの周知や取組のPR
- ・ コンビニや観光施設、学校など地域内外のサポーターの獲得

■取組内容

○イベント「あいち戦国姫隊・武将隊に会いに行こう！」の開催

愛知県が実施している「あいち戦国姫隊（6名）」と名古屋市が実施している「名古屋おもてなし武将隊（2名）」を招き、海っ子バスをPRするイベントを開催。イベントでは、町が主催するフォトコンテストも同時開催。



イベントポスター



海っ子バス出発時

○バス停留所のベンチ作成及び設置

バスを利用しやすい環境整備の一環として「きずなの会」メンバーが作成したベンチを、主要バス停4箇所

に設置。



作成したベンチ



ベンチ設置

ベンチの設置状況

○バス停留所の表示内容変更

バス停が地域の案内拠点となるよう、バス時刻表のほかに周辺案内情報等を掲載したバス停時刻表を、主要バス停6箇所に設置。



バス停留所ベンチ



案内情報を記載した時刻表

○スタンプラリーの実施とポケット時刻表の作成

- ・海っ子バスのバス停6箇所と、海っ子バスの車内をポイント場所として設定し、スタンプラリーを実施。
- ・南知多町の観光情報を載せたスタンプ台紙と海っ子バスの時刻表が表裏になった配布物を作成。
- ・時刻表には、海っ子バスのダイヤとともに、南知多町の主要な公共交通である知多バス、名鉄電車、高速船のダイヤを掲載。



スタンプラリー台紙



ポケット時刻表

○内海保育所の最寄りバス停での屋根付きベンチの製作・設置

- ・バスを利用しやすい環境整備の一環として、内海保育所の最寄りバス停に「きずなの会」手作りの屋根付きベンチを設置。
- ・園児も参加したお披露目式を開催し、新聞・ケーブルテレビ等を通じて事業周知を図った。



屋根付きベンチの製作の様子



園児とのお披露目式

■取組における展開方法・工夫等

- ・イベント開催や「海っ子バス」の効果的なPRと活動資金を確保するため、サポーター会員を募集し、イベントPR用の「のぼり旗」を購入してもらい、海っ子バスの沿線などに設置。
- ・ベンチの設置では、「きずなの会」メンバーがベンチを設置する交渉を行うことで、地域への理解を図り、地元の協力を得て設置。
- ・バス停留所の案内表示の変更では、バスルート図や運行ダイヤだけでなく、周辺の観光施設等も紹介するなど、観光客にも利用しやすいものとした。
- ・屋根付きベンチの背面には、園児の作品展示スペースを設け、親しみやすいバス停としている。
- ・イベントやスタンプラリーの開催に当たり、南知多町が主催する「海っ子バス フォトコンテスト」と愛知県が主催する「なるほどTHE武将博」と連携を図ることで、より多くのイベントへの集客を図った。



作成したサポーター用のぼり旗

■取組の効果

- ・内海保育所の最寄りのバス停は、保育所の協力を得たことで、園児たちによる作品も飾ることができた。全園児110人が参加したお披露目式も行い、子どもたちにも関心を持ってもらえた。
- ・イベント開催にあたっては、内海、山海、豊浜地区他において、募集したサポーター会員延べ75人の協力で「のぼり旗」を海っ子バス沿線などに設置。地域にとらわれない、まちづくり活動の第一歩を踏み出せた。
- ・バス停留所のベンチ設置や表示内容の変更では、セブンイレブンや内海高校など地域の協力を得ながら、地域住民が主体で実施したことにより、地域間の交流や地域住民の問題意識の高揚を図ることができた。
- ・イベントやスタンプラリー大会の開催によって、「海っ子バス」を利用する仕組みづくりが行え、バスの利用促進とアピールにつながった。

今後の課題及び展望

- ・多くの方がバスの重要性を認識しているが、実際にバスの利用者が少ないことが課題である。
- ・ベンチ設置は、バス停が公共施設にあるなど設置許可が得られず、また、民有地など適した設置場所も少ない。
- ・今後の展開として、行政と協働したイベントの企画などでバスの利用促進を図るとともに、子どもたちへの海っ子バスの利用を促す活動を展開していく。